

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 1 月 19 日 (2012.1.19)

【公表番号】特表 2008-507622 (P2008-507622A)

【公表日】平成 20 年 3 月 13 日 (2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報 2008-010

【出願番号】特願 2007-524839 (P2007-524839)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 1 B 31/02 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/00

C 0 1 B 31/02 1 0 1 F

C 0 8 K 3/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 14 日 (2011.11.14)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 4 】

幾つかの具体例においては、プロセスパラメータ、例えば予熱した支持体の温度、噴霧の速度、CNTs / プレポリマー / 有機液体の濃度等を調節することによって、ポリマー / CNT は表面に整列することができる。単一のショット（噴霧）の 0.5 重量% 受け入れ時 SWNTs / エポキシ / DMF を、予熱した支持体の上に噴霧した。図 15 (a) 及び 15 (b) を参照すると、生成した SWNT / エポキシ複合体試料を光学顕微鏡法を用いて観察した時に、試料位置に対して焦点を変えることによって 2 つの異なる像が観察された。焦点を上下に移動させることによって、特定の像が現れ及び消失するのが見える。この観察から、多くのヤシの木様 - SWNTs / エポキシ柱状部が支持体表面に垂直に整列していた。この構造の形成の可能な機構を、図 16 (a) ~ 16 (i) に概略で表す。従って、SWNT / エポキシは、本発明によって垂直に整列することができる。